

[生涯学習]課 経営計画書（総括表）

■事務事業の総括

No.	事務事業名	様式 区分	H27 年度計画額（単位：千円）		H27 年度必要人工	
			計画額	内特定財源	職 員	臨時職員
1	家庭教育推進事業	B	1,097	245	0.6	0.2
2	生涯学習活動推進事業	B	20,220	107	0.6	0.2
3	生涯学習講座事業	B	1,145	60	0.6	0.2
4	中央公民館管理事業	B	84,479	23,894	0.3	0.1
5	町民会館管理事業	B	23,329	2,889	0.4	0.1
6	社会体育振興事業	B	11,048	364	0.7	0.2
7	温水プール管理事業	B	53,095	152	0.3	
8	グラウンド等管理事業	B	47,526	1,227	0.3	
9	野外活動施設管理事業	B	4,847	1	0.2	
合 計			246,786	28,939	4.0	1.0

■特記事項

--

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯学習課	No.	01
事業名	家庭教育推進事業		
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	(2)	一人ひとりが尊重される社会・地域ぐるみの子育て環境の実現
目的	将来を担う子どもたちの健全育成は、学校・家庭・地域が連携し、すべての教育の基である家庭教育の充実を図り発展させること。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育講座 ※小学生以上を対象にした講座や親子を対象にした自然体験教室等を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子ふれあいファミリーフェスタ ※ふれあいまつりで小、中学校PTAと協働契約により開催する。 	
現在における経過又は課題	<p>社会構造の変化に伴い、子育て家庭の孤立や地域の子育て力が低下している。その為、学校、家庭、地域が連携して、自然体験や親子ふれあいの場づくりに務め、家庭や地域が共に子育てに参加し、その教育力を高めることが必要である。</p> <p>町の他部局やNPO登録団体等が行う同様の事業も多く、講座や体験教室に同じ受講者が参加するなど、新たな参加者が増加していかない。</p>		
平成27年度の目標又は改善策	<p>親子講座や親子（父子）がふれあい、ともに学習できる機会の提供などより一層の充実を図る。</p> <p>新たな参加者の獲得のためアンケート調査等を実施しながら更なるニーズの発掘に努力する。</p> <p>事業や開催時期などが重複しないよう、他の部局と情報を共有しながら連携を密にするようにする。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	前期家庭教育講座の受付及び事業展開、アンケート調査（5月～8月）
7	日間賀島親子自然体験教室開催及びアンケート調査
10	後期家庭教育講座の受付及び事業展開、アンケート調査（11月～2月）

□3年間の目標

目標	・ ・					
項目（単位）	H25 計画	H25 実績	H26 計画	H27 目標	H28 目標	H29 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H28 年度	・ ・
H29 年度	・ ・

■事業コスト

		単位	H25 年度決算額	H26 年度当初予算額	H27 年度計画額
事業費		千円	1,056	1,235	1,097
(内特定財源)		千円	337	365	245
人工	職員	人工	0.4	0.4	0.6
	臨時職員	人工	0.2	0.2	0.2
	計	人工	0.6	0.6	0.8

■平成 27 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
19-3-4-9-2-2 家庭教育講座受講料	20	10-5-1 3 家庭教育推進事業
19-3-4-9-4-1 家庭教育活動参加者負担金	225	10-5-1 3 家庭教育推進事業
合計	245	

■平成 27 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
10-5-1 03 1-2-1 青少年問題協議会委員報酬	59	59	事務分担の見直しによる

■特記事項

なし

■目標又は改善策に対する取組内容

講座や教室に参加する親子などが固定化する傾向があるため、多くの方々に参加していただけるよう周知方法や内容について検討した。

他の部局、団体と同様な行事については、重複している内容について再確認をした。

●前期家庭教育講座

・親子自然教室

「竹で、たけのこごはん！」（1回、12組、39人参加）

「たけパンづくり」（1回、12組、46人参加）

日間賀島親子自然体験教室（天候不順のため中止）

・大正琴に触れてみよう（6回、延17人参加）

・マイギリ式火おこし器づくり（1回、9組、24人参加）

・理科おもしろ実験講座

「光の性質を学んでカメラを作ろう！」（1回、7組、9人参加）

「うがい薬をつかってビタミンCを調べよう！」（1回、4組、6人参加）

「五条川の水質を調べてみよう！」（1回、7組、12人参加）

●後期家庭教育講座

・アトリュミエール教室（3回、延12人参加）

・大口町にある会社に行ってみよう

「青山製作所」（1回、6組、10人参加）

・理科おもしろ実験講座

「飛ぶおもちゃを作って遊ぼう！」（1回、5組、8人参加）

「空気のおもさを感じよう！」（1回、7組、10人参加）

●ふれあいまつり2015

大口中学校 PTA 千本引き（515人参加）

大口南小学校 PTA 缶積みゲーム（430人参加）

大口北小学校 PTA 親子いすづくり（100人参加）

大口西小学校 PTA Let's チャレンジ! わなげ（904人参加）

●父子料理教室（おやじの会 協働事業）（9組、22人参加）

■評価

家庭教育に関連した各種講座・教室を開催することにより、多くの参加者が家族の絆などその意義を体験することができ、参加者からは概ねよい評価をいただいている。親子自然教室では、地震災害時などに役立つよう屋外で薪をつかったの炊事経験や火おこしを体験した。

親子自然教室では、父親の積極的参加がみられ、母親を含めた家族でのより良い家庭教育の場となった。今後は、他市町の講座状況や住民の多様なニーズを掌握し、事業展開を図っていきたい。

また、町NPO登録団体や小中学校PTAと協働開催し、事業展開していくことや学校との連携・調整もスムーズに行えた。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯学習課	No.	02
事業名	生涯学習活動推進事業		
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	(1)	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進
目的	人々が自らの意思で、生涯学習活動を進めることにより、大口町生涯学習基本構想に基づく「生涯学習のまちづくり」を目指すこと。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・文化振興（芸能文化事業） ・文化協会支援 ・学校支援地域本部事業 ・成人の集い実行委員会支援 ・リフレッシュリゾート施設利用助成 ・生涯学習のまちづくり事業委託 		
現在における 経過又は課題	<p>学校、家庭、地域がそれぞれの役割を持ちながらお互いの教育力を補完し合い、学習活動を推進する必要がある。</p> <p>大口町文化協会は、会員の高齢化が進んでいるが、協会の自立が期待されているとともに会員をどのように増やしていくかが大きな課題である。</p> <p>学校支援地域本部事業のより一層の拡大と継続性の確保。</p>		
平成 27 年度 の目標又は 改善策	<p>開かれた学校づくりの一環で地域住民が学校における行事や事業への参加・協力ができるよう学校地域支援本部の継続と拡充のため情報発信やボランティアの確保などを図っていく。</p> <p>平成 26 年度にリフレッシュリゾート情勢の在勤者勤続年数などを見直したので企業向けに PR をしていく。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	大口町文化協会補助金交付決定 事業の展開支援（4月～3月）
6	生涯学習のまちづくり事業委託契約 町NPO団体と協働委託契約を締結 芸能文化事業の展開（6月～2月） ・ほほえみコンサート、なんでもマラソンコンサート、おおぐち合唱祭、ダンス&ミュージック
7	大人の集い実行委員会立ち上げ 事業の展開（8月～1月）
1	大人の集い開催 リフレッシュリゾート施設利用申請受付、利用券交付（4月～3月）

□3年間の目標

目標	・ ・					
項目（単位）	H25 計画	H25 実績	H26 計画	H27 目標	H28 目標	H29 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H28 年度	・ ・
H29 年度	・ ・

■事業コスト

		単位	H25 年度決算額	H26 年度当初予算額	H27 年度計画額
事業費		千円	15,285	18,370	20,220
(内特定財源)		千円	127	106	107
人工	職員	人工	0.6	0.6	0.6
	臨時職員	人工	0.2	0.2	0.2
	計	人工	0.8	0.8	0.8

■平成 27 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
12-1-9-4-4-1 特別教室開放施設使用料	107	10-5-1 4 生涯学習活動推進事業
合 計	107	

■平成 27 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
10-5-1 4 19-3-2 リフレッシュリゾート施設利用助成	8,065	254	<ul style="list-style-type: none"> ・助成の見直し 宿泊 2,500 円、日帰り 1,000 円 ・在勤者の勤続年数を 20 年から 10 年に短縮し、配偶者までの助成を同居の家族での小学生以上の方まで拡大 ・新規宿泊施設を追加し、追加した施設を利用した場合のみ航空運賃を補助

■特記事項

なし

■目標又は改善策に対する取組内容

中央公民館の耐震補強工事に伴い中央公民館廊下やロビーなどを有効活用し、文化協会や学校支援地域本部事業、地域自治組織などのPRができるようパネルの展示や事業報告などを掲載し、各種団体へ加入へのアピールを行った。

●芸能文化事業

ほほえみコンサート（3回、延入場者121人）

大口なんでもマラソンコンサート（1回、28組、41人参加、観客数約150人）

大口合唱祭（1回、8団体、160人参加、入場者353人）

ダンス&ミュージックフェスティバル（1回、17団体参加、入場者約400人）

●成人の集い実行委員会支援

成人の集い参加者 199人参加

●文化協会支援

文化部、芸能部合わせて23団体、473人

作品展及び教室 18事業

発表会及び慰問 108事業

●リフレッシュリゾート施設利用助成

宿泊利用申請数 1,667人

日帰り利用申請数 764人

FDA利用者数 96人

●学校支援地域本部事業

ボランティア登録人数 85人

活動日数・活動人数

・大口中学校 延216日 610人

・大口南小学校 延76日 438人

・大口北小学校 延85日 250人

・大口西小学校 延63日 320人

■評価

従来の外部招へいの芸能鑑賞会から町内の団体と協働委託事業としたことが定着化し、実施団体のより一層の活性化だけでなく、町内で文化活動をしている団体の掘り起しと同時に、団体と団体との交流のとなった。数多くの子どもの活躍が目立ち本町の芸能文化の向上につながった。

文化協会においては、助成の仕組みについての整理を行い、各クラブの理解と協力が得られ順調に進めてきたが、会員の高齢化などクラブの存続が危ぶまれる団体もあり、新たなクラブの募集や会員募集など積極的に進める必要がある。

リフレッシュリゾート事業では、平成27年度より航空運賃補助など新たに3地区を助成対象とするなど拡大をしたが、PRの方法を考察し、より多くの方に利用してもらえるよう検討する必要がある。

学校支援地域本部事業では、参加されるボランティアの方からは、自信とやりがいを強く感じられたという意見が多く寄せられ、生涯学習実現の場として大きな役割を果たしていると感じられた。今後も学校支援活動がますます町全体での活動に広がっていくよう継続していきたい。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課	No.	3
事業名	生涯学習講座事業		
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	1	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進
目的	町民一人ひとりが、変化の多い社会の中で「明るく、楽しく、豊かに」生きることを願い、様々な分野の各種講座を開設しながら、個々の教養や技術を習得すること。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・定期講座 ※前期、後期に分け、主に教養を深めることや趣味の拡大を目的に1講座6回程度開催する。		<ul style="list-style-type: none"> ・旬の講座 ※その季節にあわせて1講座1回から3回程度開催する。
現在における経過又は課題	住民が求める講座や教室は、多種多様であり、講座や教室の内容の企画や選定に苦慮している。多くの参加を見込める講座等を企画する必要があるが、他の部局と同様の事業や時期が重複している傾向がみられる。		
平成27年度の目標又は改善策	講座の開催場所を学校や学供、町外施設など幅広く活動の場を展開する。 アンケート調査で得た情報を基に、更に住民ニーズを吟味し、新たな講座等を企画していく。 新たな講座等も大切だが、既存の（文化協会活動）活動も積極的にリトライしていく。		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	前期生涯学習講座の受付及び事業展開（5月～8月）
10	後期生涯学習講座の受付及び事業展開（11月～2月）
	* 事業の展開と共に、新たな講座等を企画していく。

□3年間の目標

目標	.					
	.					
項目（単位）	H25 計画	H25 実績	H26 計画	H27 目標	H28 目標	H29 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H28 年度	.
	.
H29 年度	.
	.

■事業コスト

		単位	H25 年度決算額	H26 年度当初予算額	H27 年度計画額
事業費		千円	1,030	1,352	1,145
(内特定財源)		千円	93	72	60
人工	職員	人工	0.6	0.6	0.6
	臨時職員	人工	0.2	0.2	0.2
	計	人工	0.8	0.8	0.8

■平成 27 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
19-3-4-9-2-1 社会教育講座受講料	60	10-5-1 5 生涯学習講座事業
合 計	60	

■平成 27 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

なし

■目標又は改善策に対する取組内容

受講者へのアンケートや生涯学習基本構想策定時のアンケート調査、聞き取り、民間事業者により各所で実施されている講座の情報収集などにより、多種多様な住民の学習要求に応えられるよう準備に努めた。

●前期講座

- 「博物館明治村」(1回、10人参加)
- 「ヤマザキマザック美術館鑑賞」(1回、31人参加)
- 「骨盤体操でリフレッシュ」(5回、延59人参加)
- 「夏野菜でかんたんクッキング」(3回、延15人参加)
- 「クラフトバンド教室」(6回、延103人参加)
- 「男の料理教室」(3回、延30人参加)

●後期講座

- 「秋のイタリア料理教室①」(1回、5人参加)
- 「秋の明治村」(1回、19人参加)
- 「ヤマザキマザック美術館鑑賞」(1回、29人参加)
- 「秋のイタリア料理教室②」(1回、6人参加)
- 「これぞ日本！和食教室」(3回、延36人参加)
- 「国宝松江城の秘密～堀尾吉晴公の軌跡」(2回、延63人参加)
- 「トラベル英会話教室」(7回、延67人参加)
- 「心と身体のリラックスヨガ」(5回、延85人参加)

●高齢者教室～さくら大学～(12回、延866人参加)

■評価

一般成人から高齢者まで幅広い年齢層の方を対象に様々な学習機会を提供できた。また、生涯学習基本構想のキーワード「学びを創る」「学びにつどう」「学びをつなぐ」という考え方の基、「誰でも、いつでも、気軽に学べる」をモットーに今後の人材育成や生きがいづくりにつながるように、受講者アンケートなどを参考に今後の講座を検討していきたい。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課		No.	4
事業名	中央公民館管理事業			
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む	
	小分類	1	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進	
目的	町民が安全で快適に学習できるよう、施設を整備し、町民が気楽に集まり教養や技術を習得することができると共に「明るく、楽しく、豊かに」生きることの一助とする。			
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の利用者対応 ・ 設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認		<ul style="list-style-type: none"> ・ 支払処理 ・ 消耗品等の補充 ・ 除草等清掃作業 	
現在における 経過又は課題	平成 26 年度に耐震工事と改修を行い整備されたが、施設内の備品などは老朽化や破損しているものが目立つ状況なので、買い替えが必要なものは更新するなど対応が必要である。			
平成 27 年度 の目標又は 改善策	3～5年ほどの計画で会議室の机や調理室の調理器具などを更新していく。 平成 27 年度においては、会議室の机を一部更新していく。			

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	年間を通して行う保守点検等の契約締結 随時、履行確認をしていく。
5	太陽光発電施設工事 発注 入札
<p>* 突発的な施設の不具合等への対応に努めながら、健全な施設運営を図っていく。</p>	

□3年間の目標

目標	.					
	.					
項目（単位）	H25 計画	H25 実績	H26 計画	H27 目標	H28 目標	H29 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H28 年度	.
H29 年度	.

■事業コスト

		単位	H25 年度決算額	H26 年度当初予算額	H27 年度計画額
事業費		千円	64,948	719,820	84,479
(内特定財源)		千円	3,880	581,009	23,894
人工	職員	人工	0.9	0.7	0.3
	臨時職員	人工	0.3	0.2	0.1
	計	人工	1.2	0.9	0.4

■平成 27 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
12-1-9-4-1-1 行政財産目的外使用料	90	10-5-2 3 中央公民館管理事業
12-1-9-4-2-1 中央公民館使用料	3,147	10-5-2 3 中央公民館管理事業
19-3-4-9-6-1 施設利用負担金	444	10-5-2 3 中央公民館管理事業
14-2-3-1-13-1 再生可能エネルギー 一等導入推進基金事業費	20,213	10-5-2 3 中央公民館管理事業
合計	23,894	

■平成 27 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
10-5-1 03 13-5-5 太陽光発電施設工事監理費	513	513	太陽光発電施設工事監理費
10-5-1 03 15-5-1 太陽光発電施設工事	23,367	23,367	太陽光発電施設工事
10-5-1 03 18-1-1 備品購入費	600	550	会議室用機の購入

■特記事項

中央公民館会議室の机、調理室の器具などが故障や破損、老朽しているため概ね 5 年をかけて更新をしていく。(平成 27 年から平成 31 年 総額 5,000 千円程度)

なお、使用できる机については、町民会館や総合運動場管理棟会議室などで利用

■目標又は改善策に対する取組内容

避難所指定に向け、太陽光発電設備工事を実施した。

耐震工事は実施したものの、開館からすでに30年以上経過しており、施設全体の老朽化は否めない。現状では、施設利用者の要望に応えることができない部分も多々存在しているが、修繕で対応可能な部分については、積極的に修繕し、改修が必要な場合にもできる限り対応した。

- 礼法室、和室の畳の表替え
- 中央公民館入り口タイル修繕
- 消防用設備取替（消火器）
- 防火シャッター修繕
- 下水管（トイレ排水管）修繕
- 太陽光発電設備工事
- 備品購入（会議室机）

■評価

本年度の利用者数は、会館日数306日で延51,646人の利用があった。町の中央避難所として活用できるよう平成26年度より施設整備を行ってきた。平成27年度には太陽光発電設備の設置を行い、非常時の機能強化など避難所としての機能については確保できた。また、施設自体が開館から30年以上が経過しているため、施設備品や調理室などの備付備品など今後取替や改修が必要となってくる。施設の修繕を実施し、利用者が安全に利用できる環境が整備できたが、今後も修繕を必要とする箇所については、積極的に直していく必要がある。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課		No.	5
事業名	町民会館管理事業			
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む	
	小分類	1	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進	
目的	町民が安全で快適に学習できるよう、施設を整備し、町民が学習成果の発表を行う場や講習等の教養を習得すると共に「明るく、楽しく、豊かに」生きることの一助とする。			
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用者対応 ・設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認		<ul style="list-style-type: none"> ・支払処理 ・消耗品等の補充 ・除草等清掃作業 	
現在における 経過又は課題	開館からすでに 20 年以上経過しており、施設の老朽化や非構造物の耐震診断の結果、天井材に不具合や屋根の雨漏り箇所が確認されている。また、付属の備品などは、施設利用者の要望に応えることができない部分もいくつか存在し更新をする必要がある。			
平成 27 年度 の目標又は 改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕で対応可能な部分については、積極的に修繕し、改修が必要な場合にもできる限り対応していく。 計画的（3年）に屋根補修、非構造部材の耐震化、空調機器更新を行っていく。 			

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	<p>年間を通して行う保守点検等の契約締結 随時、履行確認をしていく。</p> <p>* 突発的な施設の不具合等への対応に努めながら、健全な施設運営を図っていく。</p>

□3年間の目標

目標	.					
	.					
項目（単位）	H25 計画	H25 実績	H26 計画	H27 目標	H28 目標	H29 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H28 年度	.
H29 年度	.

■事業コスト

		単位	H25 年度決算額	H26 年度当初予算額	H27 年度計画額
事業費		千円	26,478	24,167	23,329
(内特定財源)		千円	2,848	2,804	2,889
人工	職員	人工	0.2	0.3	0.4
	臨時職員	人工	0.0	0.0	0.1
	計	人工	0.2	0.3	0.5

■平成 27 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
12-1-9-4-1-2 行政財産目的外使用料	1	10-5-2 4 町民会館管理事業
12-1-9-4-3-1 町民会館使用料	2,108	10-5-2 4 町民会館管理事業
19-3-4-9-6-2 施設利用負担金	780	10-5-2 4 町民会館管理事業
合計	2,889	

■平成 27 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
10-5-2 04 11-6-1 町民会館修繕料	4,011	3,011	階段式観覧席の修繕

■特記事項

今後、屋根の改修(雨漏り対策)、非構造部材耐震、空調設備の更新を行っていききたい。

屋根改修 66,726 千円

非構造部材耐震 37,800 千円

空調設備 143,640 千円

■目標又は改善策に対する取組内容

開館からすでに20年以上経過しており、施設が老朽化してきた。現状では、施設利用者の要望に応えることができない部分もいくつか存在しはじめているが、修繕で対応可能な部分については、積極的に修繕し、改修が必要な場合にもできる限り対応した。

- 移動観覧席修繕
- 消防用設備修繕
- 冷温水発生機修繕

■評価

本年度の利用者数は、会館日数312日で延31,388人の利用があった。少しずつではあるが施設の修繕を実施し、利用者が安全に利用できる環境が整備できたが、今後も修繕を必要とする箇所については、積極的に直していく必要がある。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯学習課	No.	06
事業名	社会体育振興事業		
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	(1)	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進
目的	町民が暮らしの中に「体育」を取り入れ「健康」と「元気」になれるよう、「町民と結びついた社会体育」をスローガンに各種講習会や大会などを開催し、町民にスポーツ参加の機会と普及に努めること。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室開催 ・スポーツ大会開催 ・体育協会支援 ・スポーツ少年団支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員事務 	
現在における 経過又は課題	<p>若い世代から高齢者の住民が生涯にわたって健康・体力づくり、趣味やレクリエーションに参加できるように多様なスポーツに親しむ機会の充実に努めていきたい。</p> <p>子供向けの事業については、総合型地域スポーツクラブであるNPO法人ウィル大口スポーツクラブが実施する事業で補完できている。</p> <p>団体支援では、自分たちだけの活動が中心であるが、多くの人を巻き込める地域貢献事業を増やしていきたい。</p>		
平成 27 年度 の目標又は 改善策	<p>子供むけの事業については、現状どおりウィル大口スポーツクラブと協働で事業を進めていく。さらに大人の事業についても同様の取り組みを実施していく。</p> <p>更にスポーツ推進委員を中心にターゲットを絞った教室を計画をしていく。</p> <p>団体支援では、自分たちの視点で団体を見直し、自らが中心となる団体だけでなく地域貢献にも積極的に取組めるよう支援する。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	各団体補助金交付決定 事業の展開支援（4月～3月）
9	地区別ソフトボール大会開催
10	町民体育祭開催
12	愛知駅伝参加
3	桜並木健康ジョギング開催
	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員会議は毎月1回開催 ・スポーツ教室は年度当初に企画し、夏以降に開催

□3年間の目標

目標						
	・	・				
項目（単位）	H25 計画	H25 実績	H26 計画	H27 目標	H28 目標	H29 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H28 年度	・
H29 年度	・

■事業コスト

		単位	H25 年度決算額	H26 年度当初予算額	H27 年度計画額
事業費		千円	10,388	10,936	11,048
(内特定財源)		千円	404	361	364
人工	職員	人工	0.6	0.6	0.7
	臨時職員	人工	0.2	0.2	0.2
	計	人工	0.8	0.8	0.9

■平成 27 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
12-1-9-5-4-1 学校開放施設使用料	358	10-6-1 3 社会体育振興事業
19-3-4-9-5-1 スポーツ教室受講料	6	10-6-1 3 社会体育振興事業
合 計	364	

■平成 27 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

なし

■目標又は改善策に対する取組内容

健康のために運動する方は多くなっているが、スポーツとなるとまだまだ少なく、大人向けのスポーツ教室を実施するがなかなか参加者が増えない。

●講座・教室

登山教室（1回、22人参加）

スポーツ教室（6回、延119人参加）

●スポーツ推進委員活動

委員会（委員会11回開催、スポーツ教室、町民体育祭、桜並木健康ジョギングなどを運営）

●スポーツ大会開催

地区別ソフトボール大会（男子14チーム、女子2チーム参加、延296人参加）

町民体育祭（約延2,800人参加）

愛知縣市町村対抗駅伝競走大会（20人参加）

桜並木健康ジョギング（614人参加）

●体育協会・スポーツ少年団事業

体育協会（11団体、1,816人）

春季町民総合体育大会

大口町・扶桑町親善体育大会

秋季町民総合体育大会

グラウンドゴルフ大会などを実施

スポーツ少年団（5団体、163人）

全国スポーツ少年団軟式野球交流大会地区大会

体カテスト

愛知県スポーツ少年大会西尾張支部大会などを実施

■評価

講座・教室については、子ども対象の事業については、ウィル大口スポーツクラブにより積極的に進められており多くの参加者からも好評価をいただいているが、成人向けの事業は人が集まらない状況が続いている。スポーツ推進委員が積極的に立案から実施まで携わっているが、住民のニーズがつかみきかれていないのが現状である。

スポーツ大会については、団体との協働事業やスポーツ推進委員の協力のもと、みんなで創る事業へと展開ができています。また、総合型地域スポーツクラブ（ウィル大口スポーツクラブ）とも連携しながら事業展開をしています。

体育協会については、自主運営も軌道に乗り、協会独自の活動も積極的に行い、安定した組織となりました。スポーツ少年団は、一部の団体で団員の数が以前に比べ減っているのが現状であり、存続も含め今後の課題である。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課		No.	7
事業名	温水プール管理事業			
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む	
	小分類	1	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進	
目的	<p>市民が安全で快適にスポーツを楽しむことができるような施設の一つとして、一年を通して活用できる温水プールを整備することで市民の体力づくり、健康づくりに努め、スポーツによる明るいまちづくりを推進する。</p>			
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者との協定締結 指定管理者と連携を密にとり施設の管理・運営について、確認する。 		<ul style="list-style-type: none"> 指定管理の範囲外の工事等について、検討し実施。 	
現在における経過又は課題	<p>施設の管理運営が平成 22 年度から指定管理者に委ねられたが、開館からすでに 30 年近く経過しており、施設全体の老朽化は否めない。現状では、施設利用者の要望に応えることができない部分も多々存在しており大規模な修繕が必要な箇所も存在している。</p> <p>今後、非構造部材耐震工事や施設の老朽化に伴う工事が必要である。</p>			
平成 27 年度の目標又は改善策	<p>施設の管理運営が指定管理者に委ねられていることから、適切な対応がとられているか指導していく。</p> <p>施設については、指定管理者と協議のうえ大規模な改修が必要な箇所について把握し、今後の改修に向けて準備を進めていく。</p> <p>平成 27 年度は、プール槽の塗装等工事を実施する。</p>			

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	指定管理年度協定締結
8	プール槽塗り替え工事入札・契約
10	プール槽塗り替え工事
<p>年間を通して施設の管理運営が適切に行われているか、指定管理者の動向を慎重に見守っていく。 大規模な修繕が発生した場合は、指定管理者と協議しながら対応していく。</p>	

□3年間の目標

項目（単位）	H25 計画	H25 実績	H26 計画	H27 目標	H28 目標	H29 目標
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 					

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H28 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
H29 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・

■事業コスト

		単位	H25 年度決算額	H26 年度当初予算額	H27 年度計画額
事業費		千円	47,238	65,819	53,095
(内特定財源)		千円	823	148	152
人工	職員	人工	0.3	0.3	0.3
	臨時職員	人工	0.0	0.0	0.0
	計	人工	0.3	0.3	0.3

■平成 27 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
12-1-9-5-1-1 行政財産目的外使用料	152	10-6-2 3 温水プール管理事業
合計	152	

■平成 27 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
10-6-2 03 15-21-1 プール槽塗装改修工事	5,508	5,508	25m プール槽塗装とプールサイド水漏れコーティング
10-6-2 03 15-22-1 非常用放送設備取替工事	2,448	2,448	非常用放送設備取替

■特記事項

次年度以降には、非構造部材耐震工事の実施が必要
非構造部材耐震改修工事 84,240 千円

■目標又は改善策に対する取組内容

指定管理者制度を導入して6年が経過し、昨年度の指定管理者外部評価委員会において概ね良好であると評価いただいたが、施設開館から30年以上経過しており、施設全体の老朽化は否めない。施設の修繕を実施し、利用者が安全に利用できる環境が整備できたが、今後も修繕を必要とする箇所については、積極的に直していく必要がある。

- プール槽塗装改修工事
- 非常用放送設備取替工事
- ボイラー更新工事
- 照明等取替工事

■評価

本年度の利用者数は、会館日数295日で延116,223人の利用があった。

少しずつではあるが指定管理者が施設の修繕を実施し、利用者が安全に利用できる環境が整備できたが、今後も修繕を必要とする箇所については、積極的に直していくよう指導する必要がある。

施設の管理運営が指定管理者に委ねられていることから、指定管理者と打ち合わせを行いながら、適切な対応がとられるよう指導していく。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課		No.	8
事業名	グラウンド等管理事業			
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む	
	小分類	1	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進	
目的	<p>市民が安全で快適にスポーツを楽しむことができるよう、また、多種多様なスポーツ種目の要望に応えられるように施設を整備し、市民の体力づくり、健康づくりに努め、スポーツによる明るいまちづくりを推進する。</p>			
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理以外の設備の維持管理 <p>※外注分は協議・契約・履行確認・支払処理</p>		<ul style="list-style-type: none"> 消耗品等の補充 除草等清掃作業 	
現在における経過又は課題	<p>平成 27 年度よりすべてのスポーツ施設を指定管理者制度に移行するため、今後は、指定管理者と調整しながら施設の維持にあたる必要がある。</p> <p>費用等の問題もあるが、全ての施設がより適正に管理・運営されるような施設管理の方法を検討していく。</p>			
平成 27 年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"> 管理運営が指定管理者に委ねられている施設について、指定管理者が適切な管理に努めるよう指導していく。また、経費抑制や適正な管理ができるよう協議し方法の検討を続ける。 			

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	<p>指定管理者制度導入施設の年度協定締結</p> <p>年間を通して施設の管理運営が適切に行われているか、指定管理者の動向を慎重に見守っていく。大規模な修繕が発生した場合は、指定管理者と協議しながら対応していく。</p>

□3年間の目標

目標	.					
	.					
項目（単位）	H25 計画	H25 実績	H26 計画	H27 目標	H28 目標	H29 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H28 年度	.
H29 年度	.

■事業コスト

		単位	H25 年度決算額	H26 年度当初予算額	H27 年度計画額
事業費		千円	50,856	53,181	47,526
(内特定財源)		千円	2,246	2,607	1,227
人工	職員	人工	0.4	0.3	0.3
	臨時職員	人工	0.0	0.0	0.0
	計	人工	0.4	0.3	0.3

■平成 27 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
12-1-9-5-1-2 行政財産目的外使用料	627	10-6-2 4 グラウンド等管理事業
19-3-4-9-7-1 特別養護老人ホーム負担金	600	10-6-2 4 グラウンド等管理事業
合 計	1,227	

■平成 27 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
10-6-2 04 18-1-1 備品購入費	2,247	1,847	ソフトボール外野フェンス及び外周ネット

■特記事項

--

■目標又は改善策に対する取組内容

指定管理者制度を導入して6年が経過し、昨年度の指定管理者外部評価委員会において概ね良好であると評価いただいたが、施設開館からどの施設も15年以上経過しており、施設全体の老朽化は否めない。施設の修繕を実施し、利用者が安全に利用できる環境が整備できたが、今後も修繕を必要とする箇所については、積極的に直していく必要がある。

■評価

本年度の利用者数は、延336,842人（学校開放含む）の利用があった。

少しずつではあるが指定管理者が施設の修繕を実施し、利用者が安全に利用できる環境が整備できたが、今後も修繕を必要とする箇所については、積極的に直していくよう指導する必要がある。

施設の管理運営が指定管理者に委ねられていることから、指定管理者と打ち合わせを行いながら、適切な対応がとられるよう指導していく。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	生涯学習課	No.	09		
事業名	野外活動施設管理事業				
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む		
	小分類	(1)	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進		
目的	<p>町民が自然にふれあいながら規律、協調、友愛の精神を養い、心身ともに健全に、また、より豊かな心を養うことを目的とし、安心して利用できる施設管理を目的とする。</p>				
事務内容	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支払処理 ・ 消耗品等の補充 </td> </tr> </table>			<ul style="list-style-type: none"> ・ 設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支払処理 ・ 消耗品等の補充
<ul style="list-style-type: none"> ・ 設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支払処理 ・ 消耗品等の補充 				
現在における 経過又は課題	<p>地元住民の有志グループに日常管理を委託してきたが、大きなトラブル等もなく現在も同じグループに日常管理を委託している。</p> <p>開場からすでに30年以上経過しており、施設全体の老朽化は否めない。現状では、施設利用者の要望に応えることができない部分も多々存在している。</p> <p>アスレチック施設については、木製であるので経年劣化が大きく、今後の施設の維持管理方針について引き続き検討していく。</p> <p>キャンプ場の必要性について引き続き検討していく。</p>				
平成27年度の 目標又は 改善策	<p>施設の老朽化に対応するため、可能な限り早期の修繕を実施している。また、地元地域からの要望等にも早期の対応に心がけている。</p> <p>施設そのものや特にキャンプ場の存在意義についても今後の検討課題であるが、施設利用者や地元地域の意見も踏まえつつ、施設の管理・運営をより良い方向に進めていく。</p>				

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	<p>年間を通して行う保守点検等の契約締結 随時、履行確認をしていく。</p> <p>* 突発的な施設の不具合等への対応に努めながら、健全な施設運営を図っていく。</p>

□3年間の目標

目標	・ ・					
項目（単位）	H25 計画	H25 実績	H26 計画	H27 目標	H28 目標	H29 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H28 年度	・ ・
H29 年度	・ ・

■事業コスト

		単位	H25 年度決算額	H26 年度当初予算額	H27 年度計画額
事業費		千円	4,956	4,857	4,847
(内特定財源)		千円	0	1	1
人工	職員	人工	0.2	0.2	0.2
	臨時職員	人工	0.0	0.0	0.0
	計	人工	0.2	0.2	0.2

■平成 27 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
12-1-9-5-3-1 野外活動施設使用料	1	10-6-2 5 野外活動施設管理事業
合 計	1	

■平成 27 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

なし

■目標又は改善策に対する取組内容

地元住民の有志グループに日常管理を委託しているが、大きなトラブルもなく適正に管理ができてい
る。開場から30年以上が経過しているため、木製遊具の経年劣化が著しく、施設点検などで指摘され
た箇所については、適宜修繕を行った。

- キャンプ場トイレ排水設備修繕
- 遊具修繕

■評価

本年度の利用者数は、会館日数313日で延7,829人の利用があった。

順次可能な限り早期の修繕等に対応しているが、今後、施設の維持管理方法について検討する必要が
ある。特にキャンプ場の存在意義についても、施設利用者や地元地域の意見も踏まえつつ、検討する。